



豊玉二中だより

令和5年度 第2号
発行日 5月12日(金)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

災害への備えについて

校長 神山 信次郎

5月5日(金)石川県能登地方を震源とする最大震度6強の揺れを5月11日(木)千葉県で震度5強の揺れを観測しました。皆さんにも記憶に新しいことだと思います。この際、亡くなられた方へご冥福を祈ると共に1日も早い復興を願っています。

地震が起きた時、石川県の友人に連絡を取りました。大きな地震を受け、非常に怖い思いをしただけでなく、その後引き続き起こる地震で、単発の物では無いことに気づき、断水なども起こり、かなり大変な思いをしたそうです。

自分たちもいつ起こるかわからない地震・災害が起きたら被災者になるということを理解してしっかり備えをするときではないでしょうか。

まずは家族の安否です。どのように連絡をとるか、どこに避難するか確認しておく必要があると思います。最近ではテレビで、災害伝言ダイヤルの案内をしています。そういった手段をしっかりと家族と確認しておきましょう。

実は東日本大震災の時、まったく家族と連絡が取れませんでした。携帯はつながりませんでした。繋がったのは公衆電話。災害時では公衆電話回線が優先確保されるそうです。ラインも繋がったような気がします。

自宅での備えでできること

まずは水です。1日3リットルが目安だそうです。災害時は救援物資が届くまでの3日間をどう過ごすかが課題と言われています。それを考えると飲み物は家庭でどのくらい用意しておかないといけないか想像がつくと思います。

備えの話をしました。まず始めに家庭でこの事を話題に話すことが、最初の備えかもしれません。

家族で話し合っておきたい5つのこと

1. 家族との連絡方法を複数用意する。
◎連絡の取り方 災害伝言ダイヤル活用 171音声案内確認
公衆電話回線が優先確保
2. 家族一人一人の身の守り方を事前に話し合う。
3. 普段使っているもので、災害時に使えるものをリスト化する。
4. 困ったときに助けを求める人の確認をしておく。
5. 家族全員がわかる避難先を決める。

自然災害はいつ起こるかわかりません。いざという時あわてないために、家族で話し合っ、使いやすい内容に調整しておきましょう。